

交渉速報(要旨) 申4号「冬期の取り組みに対する申し入れ」⑤

18. E653系窓ガラス破損(トンネル徐行等)を明らかにすること。

会→矢引の徐行は行わない。飛散防止ネットが有効と判断した。

組→長年議論し提言もしてきた。結論として会社が決断したと受け止める。徐行をやめた途端に割れ始めたら徐行を再開する場合もあるのか

会→あり得る

組→対策を確定させていく必要性は一致できるが、車両センターサイドからすれば割れることは避けてもらいたいのである。

19. 酒田運輸区構内タンクローリー出入り口および軽油タンクまでの除雪体制を確立すること。

20. 酒田運輸区社員用駐車スペースの除雪体制を確立すること。

会→基本は社員による除雪、ハンドロータリーの使用であるが、昨年も業者による除雪実績があるし、限られた予算示達の範囲はあるが、業務のために必要な除雪は現場判断で業者手配で良い。

21. 長岡車両センターの女性用休養管理室に電気毛布を配備する等、暖房設備を設置すること。

会→社員の声も実際聞いたが、問題ないということである。各部屋のエアコンも確認したが異常は無い。新たな手を打つ状況ではないと判断した。

組→我々も直接聞いた声からの要求である。体感に個人差は当然あることであり、電気毛布を常備して使うか選べるような環境を求める。声が無いという回答だが声はある。

22. 信越線・上越線の同時カッター代行運転に対応できる冬期要員を配置すること。

組→現行の要員で問題ないという回答だが、運転できる人が限られ運用が厳しい。ジョブローテーションの弊害である。

会→資格者が少なくて厳しいという声は聞いていない。

組→運転の判断はなにか

会→霜情報等で判断している。前日まで判断する。

23. 架線凍結による駅間停車の未然防止について考え方を明らかにすること。

組→塗油の頻度に変更はあるか

会→無い。年2回が基本であり宮内～柏崎は年3回である。

組→運転士が無理だと言ったものを行かせて駅間停車した事例がある。乗務員の申告を上回る指示はしないことを確認して良いか

会→良い。

組→トロリ線加熱装置の稼働はどうか

会→電力指令が判断して使用している。発車の10分前まで情報することができる。